

令和7年度

入園案内



学校法人 聖トマ学園
聖テレジア幼稚園

聖テレジア幼稚園 概要



名 称 学校法人聖トマ学園 聖テレジア幼稚園

開 園 1932年(昭和7年)

代表者 理事長 梅村 昌弘(司教・カトリック横浜教区長)
園 長 白木 信一

所在地 〒390-0873 長野県松本市丸の内9-32
電 話 0263-33-8206
FAX 0263-36-6068

▼徒歩：JR松本駅から約20分

▼バス：アルピコプラザ内バスターミナルから
アルピコバス「美ヶ原温泉行き」乗車
「松本城・市役所前」下車 徒歩2分

本園の創立と目的

本園は、1932年(昭和7年)松本カトリック教会主任司祭フェルナン・デルボス神父によって創立・開園されました。今年が93年目に当たります。

現在は、神奈川県内の1小学校、11園と共に、学校法人聖トマ学園の傘下にあります。『神から与えられた かけがえのない いのち』を大切に、その成長を支援することが、この法人の目指すところです。

神と人に愛され、自らも他者の喜びとなれる実践を通して、生き生きと、のびやかな幼児期を過ごし、幸せな人間としての将来を拓ける大人に成長できることを願って日々の教育・保育に当たっています。

お子さんの楽しみな将来のために

人間形成に大きな影響を及ぼす幼児期に、人として大切な根本的なことを身につけていく必要があります。この時期にしっかりと善いこと正しいことを伝えることも大切ですが、何よりも、自分は愛されていること、愛されるにふさわしい存在であること、そしてそれは自分だけでなくすべての人がそうであることを知ることで、そうして互いに助け合い、協力し合うことで、自分たちが暮らす社会を、平和で幸せな世界に築いていこうとする人に成長していくように願っています。

万物を創造された創造主である神さまは、ご自分に似せて人を創造され、ご自分の命の息を吹き込んで生きる者とされました。人の命は神さまとつながった、そして神さまと同じ息をしている、かけがえのない、ありがたい命であることをしっかりと受け止めて欲しいと願い、「こころ げんきに たくましく」をモットーに保育に励んでおります。



園長 白木 信一

幼稚園として 今、大切にしていること

“こころ げんきに たくましく”



◆創り出す力

『遊び』と『体験』を通して、子どもたち一人ひとりが自分に備わっている創造力を十分に生かせるように考えています。

集団のなかで、自分の力が発揮できる時にこそ、子どものこころは伸び伸びと広がり、充実できるのです。

毎年同じカリキュラムや指導計画ではなく、その年の子どもたちに合った活動を考え、園全体で、毎日が楽しい日になるよう心がけています。

◆分かち合う喜び

友だちや先生、そして家族、周りの人たちと喜びを分かち合うことで、自分自身が生きる喜びを感じることができます。

『よかったね。』『うれしいね。』『たのしいね。』・・・そんな言葉が誰とでも伝え合えるように、毎日のありふれた生活の中で、異年齢の子ども同士の活動も大切に考えています。

また、この時期しかできない親子の関わりも、いろいろなかたちで活動の中に取り入れるなどして、絆のいっそう深まることを願っています。

◆感謝する心

自分を大切にできる人は、周りの人も大切にしようとしています。

そのために感謝できるこころの育ちを願いながら、目には見えない神さまと向き合い、静かな心でお祈りする時間を大切にしています。

『ありがとう』『ごめんなさい』を、子どもが自分の心で感じて相手に伝えられるように、また、相手の言葉も相手の身になって耳を傾けられるように。

園生活 ～1日の流れ～

8:30～ 受入れ 登園は9:00までに

登園し身支度を済ませたら自由に遊びます。



9:40前後～ 子どもたちの遊びの状況を見ながら 片付け

10:00前後～ 各クラスでの活動 <朝の集い>



へいわのいのり

かみさま わたしたちをへいわのおつかいにしてください
けんかをしているひとがあれば なかよくできるように
いじわるをされても ゆるしてあげるように
かわいがってもらいより かわいがってあげてあげて
わたしたちは いっしょけんめいやりますから
かみさま どうぞ わたしたちといっしょにいてください

アーメン。

10:30前後～ 各クラスでの活動

それぞれの年齢や個人の発達を考慮した内容で活動を行います。その内容は、幼稚園教育要領に基き、健康、人間関係、環境、言葉、表現等のねらいに沿い、かつ、当園独自の教育目標に適う方法で、ひとりひとりの自主性を大切にし、力が発揮できるように、さまざまな活動が展開されます。

— 丈夫なからだが 育む
げんきて たくましい心 —



— 知性と感性のバランスよい成長が幸せな人生を紡ぐ —

3歳から6歳のこの時期に、視る、聴く、触れるなどの五感を豊かに使い、同時に知恵を働かせる経験が必要です。力一杯身体を動かし、指の先までよく動かすなど、いろいろな身体の使用方を学ぶ経験を大切にしています。



— 考える、やってみる、忍耐強く最後までやる
うまいかなかったらもう一度・・・やり遂げた喜びの体験 —

子どもはそれぞれ違うので基本はひとりひとり・・・

でも友だちと一緒にだからできることもあります。そこを大事にしたいのです。



12:00前後～ 昼食

週に一度（木曜日）は、今しかできないお母さんの愛情
いっぱいのお弁当。

週4日は栄養士の先生による、味も栄養も満点の給食。

（アレルギーのお子さんには、個別で相談の上、対応
しています。）



12:30前後～ 再び自由な活動

おいしい食事をいただいたら後片付けをして自分の好きな遊びを・・・
そして友だちといっしょの遊びを楽しみます。



13:20前後～ 片付け



「あしたまたつづきやろうね。」翌日の活動につながる片付け
「あした使う人のことも考えて・・・」
「ようちえんのみんなのものだからだいに・・・」

人の役に立ち、喜んでもらえることを自らの喜びとできるような体験を大切にしています。



13:40前後～ <帰りの集い>

- ・お便りの配布
- ・集団ゲーム
- ・絵本の読み聞かせ
- ・歌など

降園の準備ができれば

- ・絵本を読んでもらいます。
- ・一日をふりかえってみると
楽しく遊んだこと・・・
友だちからやさしくしてもらってうれしかったこと・・・
○○ちゃんは～をうんとがんばってえらかったんだよ・・・

今日一日のたくさんのお恵みに感謝して、
明日への期待を胸に「さようなら」



降園は…

年少 14:00

年中 14:15

年長 14:30

年間を通し、子どもたちの育ちを助けるために、大切にしている活動、行事など

異年齢の子どもが関わる活動

まずは子どもたち自らが選んで自由に遊ぶ中での交わり。

そして年長と年少、年長と年中、年中と年少、時に未就園児親子のたんぽぽ組と意図的に関わる機会を持ち、共に楽しめる活動を行います。子どもたちはこの経験を通してたくさんの楽しみを味わい、多くを学んでいます。



たくましい身体を作るために

- ・毎日の園庭での遊び、お城の公園への散歩をはじめ、日常生活の中で重い物を運んだり、走ったり、跳んだり…簡単なことの積み重ねが大切です。
- ・その他、N P I C長野体育指導センターの先生による体育遊び（年10回）、山雅スタッフの巡回指導によるサッカーの体験（年4回程度）も取り入れています。



感性が豊かに育つこの時期にぜひとも美しい生の音楽を聴いて欲しい

園の遊戯室で優れた演奏家の演奏を身体全体で聴く機会を年に3~4回持っています。

秋の打楽器コンサート、バイオリン・フルート・ピアノによるクリスマスコンサート、3月には琴・尺八・その他の和楽器でのひなまつりコンサート。

その他にもよい機会があれば逃しません。



月に2回の英語は

日本語を話さない先生の楽しいレッスンを通して、人との関わりを幅を広げ、豊かにすることが目的です。



人の役に立つこと、人の喜びを自分の喜びとできる体験

仲よしのお友だちの喜ぶこと、大好きな先生に喜んでもらうことを見つけるのは、子どもたちの特技です。

人の役に立つことができた時の何とも言えないうれしそうな表情は特別です。人間にとってとても大切な人生訓を子どもたちは幼い心にしっかりと刻んでいるからでしょう。

自分の欲求や楽しみ、喜びが満たされるだけの喜びには限界がありますが、人の役に立つ喜びは、人との絆を強くし、次の行動へと駆り立てます。そして間違いなく生きる力の源となっていきます。

日々子どもたちと関わる中で、私たちはその姿をたくさん見てきました。そのため、年長児は年間2回程度の老人ホームの訪問を確信をもって続けています。



1 学期

4月 入園式
入園おめでとう会

5月 マリア祭
親子遠足

6月 父の日参観

7月 夏祭り



2 学期

9月 祖父母感謝の日

10月 テレジアのお祝い
運動会
年長・年中徒歩遠足
打楽器コンサート

11月 作品展示会
七五三のお祝い

12月 年少クリスマス会
年長・年中クリスマス会
アンサンブルテレジア・クリスマスコンサート



3 学期

2月 来入児体験入園

3月 ひなまつりコンサート
卒園式



☆各学期、参観、年2回個人懇談があります。

子どもたちの園生活の中心はあくまでも行事のない平凡な一日の生活ですが、時に行われる行事を通して、いつもと違う頑張りや、友だちといっしょに楽しむ活動を通して、年齢にふさわしい刺激が、成長を助けるよい機会となっています。

入園をお考えの方へ

令和7(2025)年度 園児募集

○募集人員

3歳児 10名(令和3年4月2日～令和4年4月1日生まれ)

4・5歳児 若干名

満3歳児 10～12名(誕生月の翌月から)

(令和4年4月2日～令和4年12月31日生まれ、その後応相談)

○入園案内と願書用紙配布

2024年10月1日(火)から土、日、祝日を除く毎日

※「重要事項説明書」「同意書用紙」をあわせて配布します。

○入園願書受付

2024年10月18日(金) 9:00～9:30

※「入園願書」「重要事項説明書同意書」をご持参ください。

※「入園面接日時」をお伝えいたします。

○入園面接 願書受付時にお知らせいたします

両親又は、父母のどちらかお一人とお子さん同伴でご来園下さい。

※「入園検定料1,000円」をご持参ください。

○入園許可書

面接後、お渡しします。

※園経由で松本市に提出する書類一式を一緒にお渡しします。

○利用者負担額

基本負担額 園児が居住する市町村が定める額(幼児教育無償化の対象)

給食費 月額 3,700円

教材費 月額 500円

※その他実費(制服代・用品代・絵本代・行事代等)がかかります。

○休日

土曜日、日曜日、国民の祝日、法人の日、教員研修日、その他園が定めた日、夏休み、冬休み、春休み。

父の日参観、秋の運動会、作品展示会他、保護者参加の都合により、行事が土曜日に行われる場合、後に、振替休日を設けることがあります。

○預かり保育

朝8:00～8:30、降園時以後通常18:00まで（午前保育日16:00まで）＜有料＞。

保護者の職業等事情により時間を考慮しています。

子どもにとって一日の生活が無理のないように、十分配慮してお預け下さい。

預かりを希望される方は、所定の用紙を使って前以て申し出て下さい。

家族に緊急な状況が出来た時、その他突然預りの必要が生じた時は、事前の申し込みがなくても電話その他の連絡があればお受けします。

長期休暇中のお預かり（夏季休暇中15日程度、春季休暇中8日程度、8:30～16:00まで）も行っています。

※条件が満たされれば預かり保育料の一部が無償化の対象になります。

〈利用料金〉

通常保育日 朝8時～8時半 100円、降園後～16時 500円。以後30分毎に100円。

午前保育日 降園後～14時 500円。以後30分毎に100円。

夏季休業日・春季休業日 5時間まで500円。以後30分毎に100円。

○通園方法

バスは導入していませんので、各保護者により、送迎をお願いいたします。

子どもの様子を直接保護者の方にお聞きしたり話したりするひとときを大切にしています。

駐車場・・・有（教会より約30台分、駐車スペースを借りています。）



